

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

H27年10月30日

計画の名称	1 安全・安心な活動を支える都市機能の向上		
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度（5年間）	交付団体	札幌市
計画の目標			

緊急輸送路およびこれらを補助する幹線道路について、道路機能の向上をはかるとともに避難場所や経路の機能を強化し、市民や来訪者が安全・安心に活動できる都市を形成する。

計画の成果目標（アウトカム指標）	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路等において、橋梁の耐震補強を行うことにより、安全・安心な道路ネットワークを確保する。 公共交通機関等の冬期安定走行空間を確保する。 		
------------------	--	--	--

アウトカム指標の定義及び算定式	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)							
札幌市市民世論調査における項目で、「よくやっていると思うもの」のうち「地震・火災・水害などの防災対策」について、順位や割合を向上させる。	13位 (3.5%)	-	H21当初より向上							
緊急輸送路等において、橋梁の耐震補強により安全・安心な通行が確保された割合。 算定式：(安全・安心な道路ネットワークの確保率) = (Σ橋梁の耐震補強完了した箇所数/Σ橋梁の耐震補強が必要な箇所数)	33%	43%	53%	災害に強い都市防災機能を確保する路防災計画(H24年度)のアウトカム指標(橋梁の耐震化)について、併せて評価を行う。						
対象事業エリア内のバスや路面電車等の公共交通機関が走行する路線において、冬期積雪時の公共交通機関の安定した走行空間が確保された都市計画道路の割合。 算定式：(Σ公共交通機関の冬期安定走行空間が確保された要素事業延長) / (Σ対象事業エリア内のH20年度当初における公共交通機関の冬期安定走行空間が確保されていない都市計画道路延長)	4%	15%	20%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	54,345 百万円	A	50,705 百万円	B	0 百万円	C	3,640 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.7%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）の交付期間終了後、札幌市において事後評価を実施する。	平成27年10月
	公表の方法
	本市ホームページに公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 地方道路整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
1-A1	道路	北海道	札幌市	直接	札幌市	市町村道	改築	(1) 簾舞小学校裏通線	道路改築 L=0.8km	札幌市					700	H24 地域自主交付金	
1-A2	道路	北海道	札幌市	直接	札幌市	市町村道	改築	(1) 烈々布幹線	道路改築 L=0.9km	札幌市					1,610	H24 地域自主交付金	
1-A3	道路	北海道	札幌市	直接	札幌市	市町村道	改築	(1) 山本川下連絡線	道路改築 L=0.8km	札幌市					574		
1-A4	道路	北海道	札幌市	直接	札幌市	市町村道	改築	(1) 清田団地75号線	道路改築 L=0.4km	札幌市					360		
1-A5	道路	北海道	札幌市	直接	札幌市	市町村道	改築	(1) 川向中通線	道路改築 L=1.5km	札幌市					377		
1-A6	道路	北海道	札幌市	直接	札幌市	市町村道	交安	(1) 烈々布幹線	歩道設置 L=0.3km	札幌市					304		
1-A7	道路	北海道	札幌市	直接	札幌市	都道府県道	修繕	(主) 小樽定山溪線	法面対策工、構造物補修	札幌市					301		
1-A21	道路	雪寒	札幌市	直接	札幌市	市町村道	雪寒	(2) 定山溪中央線	消雪施設 7,368m ²	札幌市					235		
1-A22	道路	雪寒	札幌市	直接	札幌市	市町村道	除雪	(1) 大通南線外	L=927km	札幌市					7,037		
1-A23	道路	雪寒	札幌市	直接	札幌市	都道府県道	除雪(機械)	(主) 札幌環状線外	除雪機械	札幌市					788		
1-A24	道路	雪寒	札幌市	直接	札幌市	都道府県道	除雪(機械)	除雪機械格納用車庫	3施設	札幌市					135		
1-A25	道路	雪寒	札幌市	直接	札幌市	都道府県道	除雪	(主) 札幌環状線外	L=226km	札幌市					112		
1-A26	街路	北海道	札幌市	直接	札幌市	S街路	改築	新発寒通	道路改築 L=0.8km	札幌市					240		
1-A27	街路	北海道	札幌市	直接	札幌市	S街路	改築	水源池通	道路改築 L=1.2km	札幌市					57		
1-A28	街路	北海道	札幌市	直接	札幌市	S街路	改築	北3条通	道路改築 L=0.6km	札幌市					164		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1	道路整備事業と一体的に事業評価などを行うことにより、道路整備の必要性及び効果について、市民への周知及び意見を聞き、ニーズにあった道路整備計画や実施を行うことができる。	
1-C4	道路整備事業と一体的に実施することにより、非常災害時に消防職員を搬送することができ、大規模災害時には、被災者の一時避難施設などに活用することにより、市民の安全性が向上する。	
1-C5	道路整備事業と一体的に、防災資材や災害対策車を備蓄・入庫する防災資機材倉庫を整備することにより、防災機能を強化でき、市民の安全性が向上する。	
1-C8	1-A40 札幌駅・大通周辺地区の地下歩行空間整備と一体整備により、地下空間における緊急情報や交通結节点として公共交通情報の即時提供が可能となり、市民や来訪者の利便性や安心・安全性が向上する。	
1-C11	道路整備と一体的に実施することにより、ICカード導入による運賃収受がスムーズに行われることから、乗降時間の短縮によるバス及び軌道の運行の定時化が図られ、公共交通機関の利便性向上と円滑な道路交通の実現が促進され、安全に通行できる道路環境が確保される。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 小樽定山溪線の法面対策等の実施により、より安全・安心な道路交通が確保された。 道路整備事業と一体的に、人員輸送車購入、防災資機材倉庫設置を実施したことにより防災・減災機能を強化し、市民の安全性が向上した。 道路の拡幅を実施した結果、冬期の渋滞による公共交通の遅延の解消・安全性確保等が図られ、安定した走行の向上に寄与した。 			
----------------------------	---	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（「地震・火災・水害などの防災対策」について、順位や割合を向上）	最終目標値	H21当初（13位（3.5%））より向上	目標値と実績値に差が出た要因	近年、大雨・地震といった自然災害が多発し、市民の災害への関心が高まる中、災害に強い社会基盤の構築を重点的・計画的に進めてきたことから順位が向上したものと想定される。
		最終実績値	12位（4.0%）		
	指標②（安全・安心な道路ネットワークの確保率）	最終目標値	53%	目標値と実績値に差が出た要因	最終目標値を達成した。
		最終実績値	69%		
	指標③（冬期積雪時の公共交通機関の安定した走行空間が確保された都市計画道路の割合）	最終目標値	20%	目標値と実績値に差が出た要因	最終目標値を達成した。
		最終実績値	20%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な道路交通の実現に向け、烈々布幹線や烈々布支線の現道拡幅を行った結果、車道幅員確保によるバス路線としての運行の定時性の向上、交通結节点へのアクセス路整備による公共交通機関の利便性向上、更には安全な歩行空間が確保された。 バス路線等の現道拡幅に併せ、ICカードシステム導入（効果促進事業）を実施した結果、札幌市市政世論調査における「よくやっていると思うもの」のうち、「公共交通の利便さを進める事業」の割合が向上した。（H21当初 15.8%→H25実績 18.7%） 除雪事業（車道除雪、歩道除雪、運搬排雪等）を実施した結果、冬期間における安全で円滑な道路交通が確保され、快適な市民生活と都市機能が維持された。 本市が所有する除雪機械を更新・増強した結果、安定的な除雪体制が確保された。 本市が管理するロードヒーティングのうち老朽化が進んでいる設備を改修した結果、冬期間における安全で円滑な道路交通が確保され、快適な市民生活と都市機能が維持された。 札幌駅前通地下歩行空間を整備した結果、ユニバーサルデザインの地下歩行空間ネットワークを形成したことにより、四季を通じて誰もが安全で快適に移動できる歩行空間が確保された。 区画整理事業により新たに整備した都市計画道路雁来川わかば緑道、工業団地中通、東雁来公園通、東雁来ふれあい緑道、東雁来やすらぎ緑道、ライラック通等により、地域交通の流れが円滑化された。
--------------------------------------	--

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、災害に強い社会基盤の構築を進めることにより、市民や道路利用者の安全・安心な生活を将来にわたり確保するよう、より一層取組を進めていく。

(参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	1 安全・安心な活動を支える都市機能の向上	交付団体	札幌市
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度 (5年間)		

(事業: 道路改築、消雪施設改修、区画整理事業、効果促進事業等)

